WristLinx™ Model: X33X

〔他メーカー機種との通話〕

特定小電力トランシーバーなら、他メーカーとの交信も可能です

※ただし、他社製品との通信は、商品仕様が異なる場合があるため
同じチャンネル同士での通話が出来ない場合がございます。
使用前に各取扱説明書にて各チャンネルの使用周波数をご確認ください。

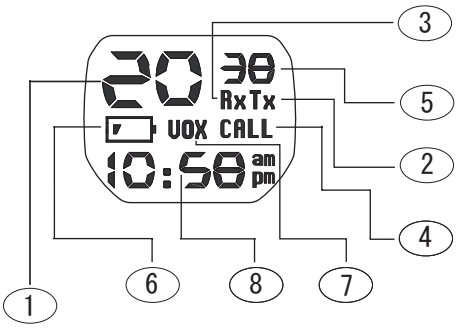
本機使用周波数表

チャンネル	使用周波数	チャンネル	使用周波数	チャンネル	使用周波数	チャンネル	使用周波数
1	422.0500 MHz	6	422.1125 MHz	11	422.1750 MHz	16	422.2500 MHz
2	422.0625 MHz	7	422.1250 MHz	12	422.2000 MHz	17	422.2625 MHz
3	422.0750 MHz	8	422.1375 MHz	13	422.2125 MHz	18	422.2750 MHz
4	422.0875 MHz	9	422.1500 MHz	14	422.2250 MHz	19	422.2875 MHz
5	422.1000 MHz	10	422.1625 MHz	15	422.2375 MHz	20	422.3000 MHz

〔通話距離の目安〕

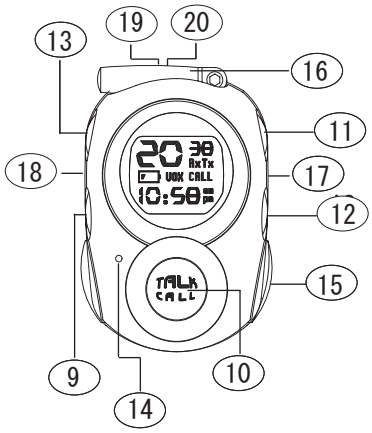
市街地：0m～約150m
郊外：0m～約300m
※見通しのよい場所ほど、遠くと交信しやすくなります。
上記の距離は、無線機を手首に装着して使用した際の目安ですが、
無線機の位置、障害物、地形などの諸条件により変化します。
なお、アンテナを高く位置させることで、交信距離は向上します。

〔使用説明〕※より詳しい内容は同封の取扱説明書に記載されております。



■表示画面

1. チャンネル表示（1～20）
   現在のチャンネルが表示されます。
2. 送信表示（TX）
   送信中にTXと表示されます。
3. 受信表示（RX）
   受信中にRXと表示されます。
4. 呼出音（CALL）
   呼び出している時に表示されます。
5. サブコード番号（oF～38）
   サブコード番号の表示
6. バッテリー残量表示
   電池残量が少ないか、充電中に表示されます。
7. VOX表示
   VOXモードの時表示されます。
8. 時計表示
   AM／PM12時間表示

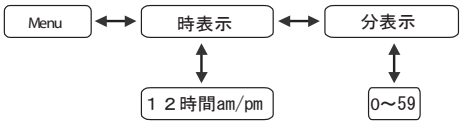


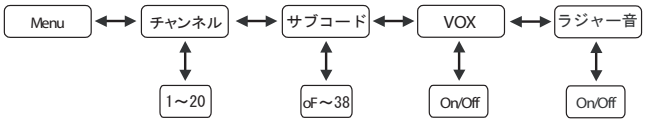
■ボタン

9. POWER/MENU
   パワー/メニューボタン(複数機能)
   押し続けるとオン/オフとなり、短く押すと
   時計合わせもしくは、
   メニュー（トランシーバー機能時）となります。
10. TALK/CALL
    トーク/コールボタン（複数機能）
11. 上ボタン ▲
12. 下ボタン ▼
13. スキャンボタン
14. マイク（内蔵マイクロホン）
15. スピーカー（内蔵スピーカー）
16. アンテナ
17. ヘッドセット・充電ジャック
18. バッテリーカバー
19. バンドリリースボタン
20. フェイスカバーロックタブ

※音量調節時の表示

■機能
X33Xの色々な機能を使用するために、MENUボタンを使用します。





■時計モードとトランシーバーモードの切り替え
MENUボタン⑨を長押しすることで時計モードとトランシーバーモードが切り替わります。

■スピーカー音量の調節（トランシーバーモード中）
1. 上⑪／下⑫のボタンを押しボリュームを調節してください。
   ディスプレイ上では、0－7レベルで表示されます。初期設定は4となっています。

■チャンネルスキャン機能
本機には、受信を受けている周波数（チャンネル）を探す機能が搭載されています。
1. 本体の横にあるSCANボタン⑬を押してください。アクティブなチャンネルを探し出すまで、スキャンします。チャンネルが見つかると、スキャンが止まり、そのチャンネルが5秒ほど表示された後、再度スキャンが開始されます。
2. 見つかったチャンネルを使用する場合は、TALK/CALLボタン⑩を押してください。
3. 見つかったチャンネルと異なるチャンネルを使用したい場合は、上⑪／下⑫ボタンを押し、そのチャンネルを通過して、スキャンを繰り返してください。
4. SCANボタン⑬を押すと、チャンネルスキャンは停止します。

■呼出音を送る
素早く二回TALK/CALLボタン⑩を押すと、通信相手を呼び出すことが出来ます。
呼び出音は、3～5秒間鳴り続けます。

■ラジャー音機能
本機種はTALKボタン⑩を押して送信終了後、自動的にビープ音を送るという機能を搭載しています。受信相手に送信終了を知らせることが出来ます。
設定方法：
1. MENUボタン⑨を4回押すと、”rb”アイコンが液晶上に表示され、on/ofのどちらかが点滅します。
2. 上⑪／下⑫のボタンを押して、ONとOFFを切替えてください。
3. 設定を終了するには、TALK/CALLボタン⑩を押します。

■送受信
1. TALK/CALLボタン⑩を押し続けながら、貴方の口元から5～8cmにマイク部を持って来て普通に話してください。送信中、送信表示（TX）がディスプレイの上に表示されます。通話の最初の部分が聞こえない、もしくは聞きにくいことを避けるため、TALK/CALLボタン⑩を押した後、直ぐに話さず、少し間をあけてから話し始めてください。
2. 話終った時に、TALK/CALLボタン⑩を離すと、受信することができます。
   受信している間、RXアイコンがディスプレイに表示されます。

※ 安定した送受信をするために、アンテナは垂直に立ててください。
※ 送受信の状態は、ご使用になる周りの環境、地形等で変わります。

■チャンネル選択（1～20ch）
本機には、通信するために20のチャンネルがあります。
1. 短くメニューボタン⑨を押すと、短いビープ音が鳴りチャンネル表示が点滅します。
2. 上⑪/下⑫ボタンを押し、チャンネルを選択します。
3. TALK/CALLボタン⑩を押すといつでも設定を終了できます。
   10秒間、どのボタンを押さなかった場合も、自動的に設定を終了します。

■サブコード選択（oF～38）
本機では、各20チャンネルに38のサブコードをご使用頂けます。
より細かい選択が可能になります。
1. メニューボタン⑨を2回押すと、サブコード表示が点滅します。
1. 上⑪／下⑫のボタンを押し、コード番号を選択します。
2. TALK/CALLボタン⑩を押すといつでも設定を終了できます。10秒間、どのボタンを押さなかった場合も、自動的に設定を終了します。

※ “oF”を選択した場合、サブコード機能は動作しません。通信を確実にするため、通信両者間の機種で同じチャンネルとサブコードを設定しご使用ください。

■VOX機能（音声認識送信機能）
本機種には、TALK/CALLボタンを押さずに通信が可能なVOXという機能（音声認識送信機能）が内臓されています。VOXモード中は、マイクに話しかけることにより、自動的に送信が可能になります。
設定方法：
1. MENUボタン⑨を3回押すと、表示画面上ににVOXアイコンが点滅します。
2. 上⑪／⑫下のボタンを押して、ONとOFFを切替えてください。
   VOX 機能がONの時は、VOXアイコンが液晶に表示されます。
3. 設定を終了するには、TALK/CALL⑩ボタンを押します。

※ VOX機能がONの時は、周囲の雑音を拾う場合もありますので、騒がしい場所、風の強い場所等でのご使用はお勧めできません。

お問い合わせ先： 株式会社アルファ　東京：(03)5624－3551　福岡：(092)503－1002